豊岡地区の就学前児童の保護者を対象とした

豊岡小学校の学校再編に関する意見交換会

本納小学校との統合について、現在の状況等をご説明します

日時　①令和8年9月13日（日）午前10時30分から
　　②　　9月15日（火）午前10時30分から
（両日とも説明内容は同じ）

場所　豊岡福祉センター

茂原市教育委員会 教育総務課

本日の内容

・これまでの経緯と最新の児童数推計

・現代の学校教育に求められること

○本納地区の学校再編

本納地区の学校再編 （計画の概要）

【現状】※平成30年３月現在

○本納地区の３小学校（本納小・新治小・豊岡小）は、適正規模を満たしておらず、近い将来全学年が単学級となることが見込まれている。特に新治小学校は市内で唯一複式学級が存在する学校である。

○本納中学校も適正規模を満たしておらず、将来的にも生徒数の減少が見込まれている。

【方針】

○３つの小学校を統合する。校舎は本納小学校を使用する。統合を機に小中一貫教育を推進する。

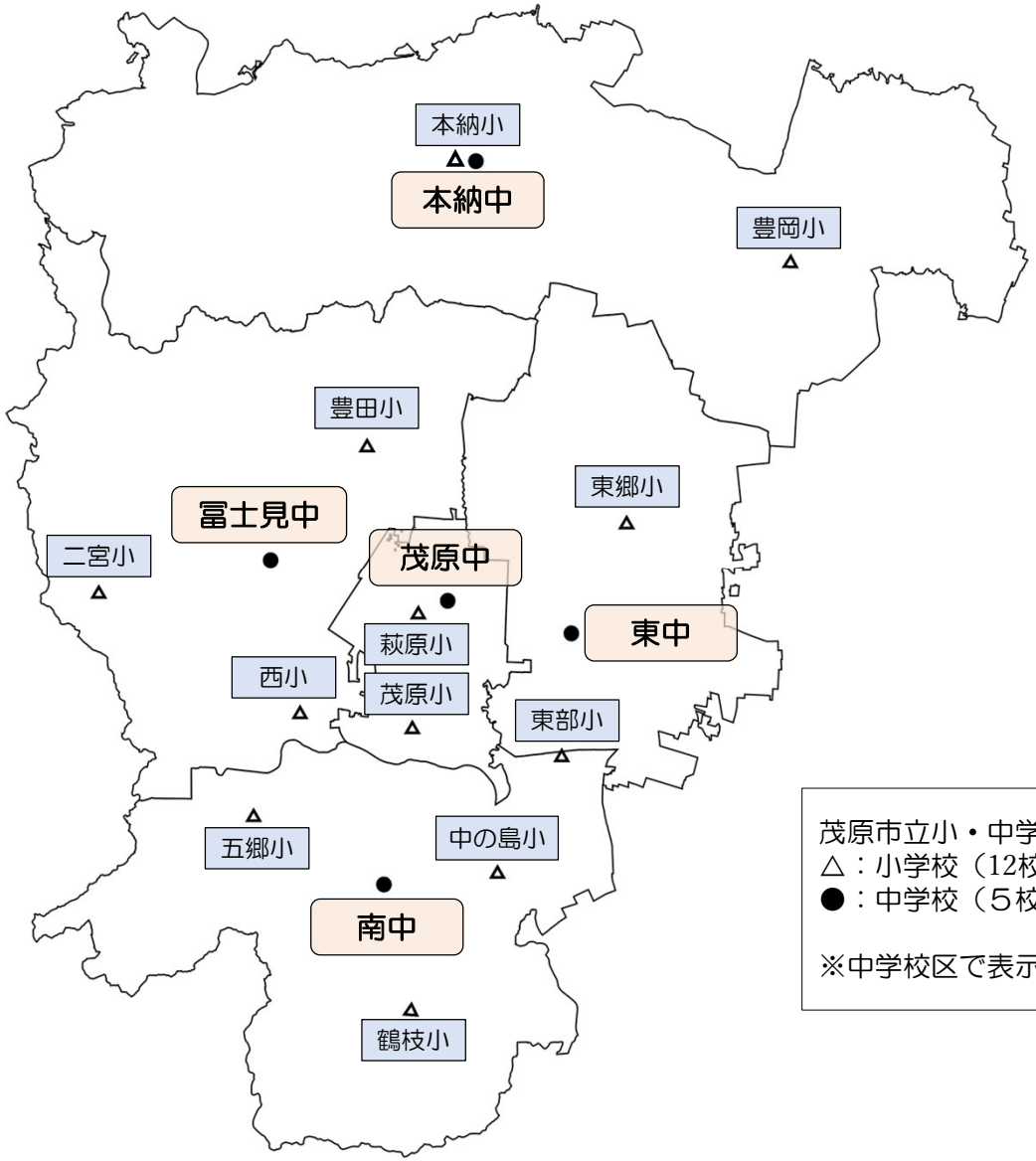
→複式学級を有する新治小学校と本納小学校の速やかな統合を行う。（→令和５年４月に統合しました）

→その後、豊岡小学校との統合（令和８年４月以降の早期）を進める段階的な統合を行う。

→豊岡小学校の児童は、通学距離が遠距離となるため、スクールバスなどの導入により通学手段を確保する。

○本納中学校も小規模化が見込まれるが、他の中学校へ統合した場合、市北部地域から中学校がなくなってしまい、通学範囲等を考慮すると生徒の負担が大きく、望ましい教育環境にはならないため、統廃合せずに存続させる。

学校の配置



茂原市立小・中学校（令和８年度時点）
△：小学校（12校）
●：中学校（５校）

※中学校区で表示しています

○これまでの児童数・学級数の状況

実　績

統合計画が示される

今年度

豊岡小	R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8	
	児童数	学級数												
１年	27	1	17	1	18	1	12	1	16	1	16	1	12	1
２年	29	1	29	1	16	1	19	1	13	1	17	1	16	1
３年	37	2	30	1	30	1	15	1	20	1	12	1	16	1
４年	25	1	38	2	29	1	30	1	15	1	20	1	11	1
５年	33	1	24	1	38	1	28	1	29	1	15	1	20	1
６年	37	1	33	1	24	1	37	1	28	1	28	1	15	1
全校	188	7	171	7	155	6	141	6	121	6	108	6	90	6

※令和２～８年度：実績

本納小と新治小が統合

○これまでの話し合いの状況

これまでの話し合い等の開催状況（豊岡地区）

	年度	開催日	内容	参加者数
1	令和４年度	令和４年12月20日	ＰＴＡ・自治会長連合会の役員との話し合い	３名
2	令和５年度	令和５年12月21日	ＰＴＡ・自治会長連合会の役員との話し合い	５名
3	令和６年度	令和６年９月７日	ＰＴＡとの意見交換会	９名
4		令和６年10月18日	自治会長との意見交換会	19名
5		令和６年12月17日	ＰＴＡ・自治会長連合会の役員との話し合い	５名
6	令和７年度	令和７年９月28日	就学前児童の保護者を対象とした説明会	10名
7		令和７年12月11日	ＰＴＡ・自治会長連合会の役員との話し合い	６名
8	令和８年度	令和８年６月29日	ＰＴＡ・自治会長連合会の役員との話し合い	５名

現時点では、統合の期日は決まっていません

○これまでの話し合いの状況

統合計画が出された当初に、PTAから挙げられた統合を心配されるご意見

○水害がある、道路も分断される。

学校周辺の道路冠水はありますが、校舎への浸水はありません。
子供たちの安全を第一に考え、大雨警報が予想される場合には、あらかじめ臨時休校の措置をとっています。

○ガスが出る。

低濃度の天然ガス湧出の対策として、校舎に通風孔やガス警報器を設置しています。

○中学校と施設共有で、自由に使えない、せまい。

小学生と中学生でゾーン分けしています。
教育活動に支障はありません。

○これまでの話し合いの状況

統合計画が出された当初に、PTAから挙げられた統合を心配されるご意見

○学校にプールがない。

民間のスイミングスクールに委託しています。
室内プールでインストラクターによる指導を受けています。

○小学校の教室数が足りないのではないか。

小学校と中学校で施設を共用しておりますが、増築校舎には小学生が第一に入るように運用しています。
校舎全体で24教室（うち増築校舎は8教室）あり、現在は16教室（小学校8教室・中学校8教室）を使用しています。
仮に、5年後に統合するとした場合には、15教室を使用することになり、教室数は十分に足りる見込みです。

○これまでの話し合いの状況

自治会長からのご意見

○統合する場合には、通学に係る安全対策をしてほしい。

①本納小学校・中学校の周辺の歩道整備をさらに進めてほしい。

敷地北側（橘樹神社から踏切の間）の歩道整備を進めています。

②スクールバスの経路や通学時間などをよく検討し、子供の安全を第一に考えてほしい。

統合について地域の合意が得られた後に、保護者・地域住民を含めた「統合準備委員会」を組織して協議・検討していきます。

○ＰＴＡの意見は、統合した方がよいのか、したくないのか、どちらの意見が多いのか。

○児童数・学級数の推計から見える今後の課題

現状と見込み

今年度 ⇒ 推計

平成31年４月２日～
令和２年４月１日生まれ

豊岡小	R8		R9		R10		R11		R12		R13		R14	
	児童数	学級数												
１年	12	1	12	1	10	1	10	1	9	1	7	1	10	1
２年	16	1	12	1	12	1	10	1	10	1	9	1	7	0.5
３年	16	1	16	1	12	1	12	1	10	1	10	1	9	0.5
４年	11	1	16	1	16	1	12	1	12	1	10	1	10	1
５年	20	1	11	1	16	1	16	1	12	1	12	1	10	1
６年	15	1	20	1	11	1	16	1	16	1	12	1	12	1
全校	90	6	87	6	77	6	76	6	69	6	60	6	58	5

複式学級が編成される可能性があります

※令和８年度：実績
　令和９～14年度：住民基本台帳（令和８年４月１日時点）による推計

〇現在の話し合いの状況

令和7年9月の「就学前児童の保護者を対象とした説明会」で寄せられた主な意見

〇複式学級が統合のタイミングの一つだと考える。今すぐ進める必要はない。

〇統合に賛成しており、やるなら早急に進めてほしい。

〇社会性や多様性、これからの社会で生きていく為に必要な力を身に付けて欲しいと思っているので統合に賛成。

〇児童減少のため統合するのは仕方ないと思うが、子供たちがスクールバスに家の近くから乗れるようにしてほしい。

〇統合後のスクールバス停留所の場所・時間、学童保育がどうなるのか気になる。

〇本納小は家から距離があり、災害や体調不良などの迎えに時間がかかってしまう。

〇本納小の周りの水害対策をしてからでないと、最終的なイエスがでないのでは。

○現在の話し合いの状況

令和7年12月の「PTA・自治会長連合会の役員との話し合い」で寄せられた主な意見

○複式学級がどういうものかを知って新たな気付きがあり、子供の学びについて考えるきっかけになると思った。

○統合により実際に通学する子供たちが、前もって両校が交流を行うことで、子供も本納小に対する意識が芽生え、家庭内でも前向きな会話ができるのではないかと思う。

○合意から統合までの準備期間に相当の期間を要することがわかった。

○両校の統合は令和４年から始めていて、まだ決まっておらず、とても時間がかかっている。子供たちがどんどん少なくなる状況では、早めに統合した方がよいと思う。

○現在の話し合いの状況

本年6月の「PTA・自治会長連合会の役員との話し合い」で寄せられた主な意見

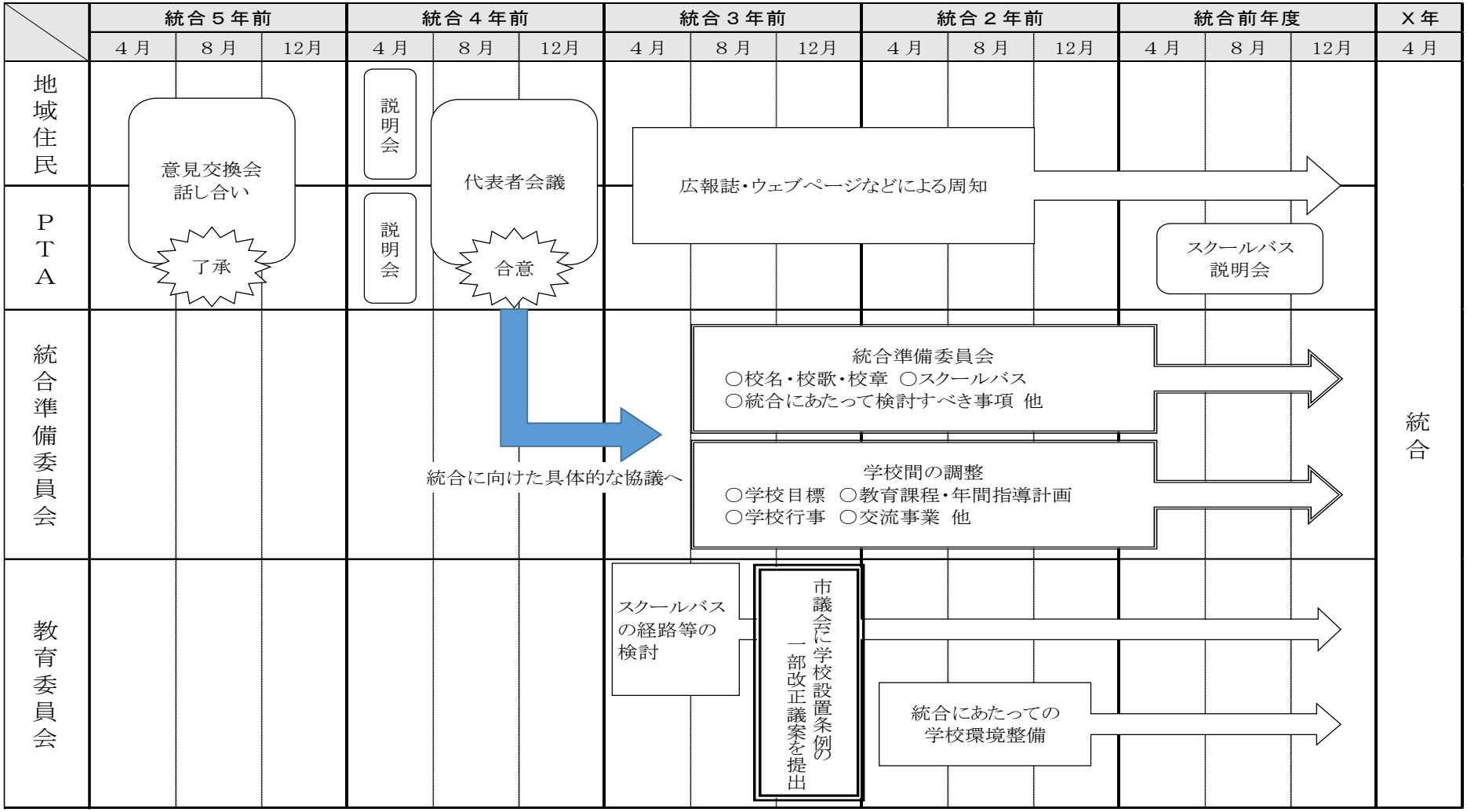
○複式学級の話を聞いて複式学級になったらデメリットの方が多いと思った。

○大雨警報が出た場合の児童の安全確保について確認できた。

○統合した場合、スクールバスを導入すること。対象となる児童やルートなどは統合の合意後に決めることがわかった。

○話し合いをできるだけ回数を多く行い、丁寧な説明を繰り返すことで、理解が深まると思った。多くの人に聞いてもらう工夫を考えなければと思った。

○統合までに必要な準備期間のイメージ



※本表はイメージであり、状況に応じて内容や時期の変更が生じます。

○現代の学校教育に求められること

これまでの社会

マニュアルに基づいて、良い品質の製品を、大量生産・大量販売する　など

子供たちが社会の担い手となる将来

異なる部門から１人ずつ集めてプロジェクトチームをつくり、新しい製品を開発する　など

必要な資質・能力が変わってきた

学校教育が大きく変わってきている

文部科学省から
H30：「主体的・対話的で深い学び」
R３：「令和の日本型学校教育」

知識や技能の習得のみを目標とするのではなく、他者とコミュニケーションを図りながら新たな知識を創りだしたり、新たな問題を解決したりする資質や能力を育むことも重要となっている。

一斉指導を中心に実施されてきた学校教育

様々な学習形態の中で多様なものの見方・考え方に触れることができるような「協働的な学び」

○現代の学校教育に求められること

今の学校では、例えば

千葉県の県庁所在地はどこですか？
地図帳を使って調べましょう。

習得

なぜ、千葉市が千葉県の県庁所在地になったと思いますか？

活用

あなたが政府だったら、千葉県のどこを県庁所在地にしますか？

探究

探究学習では、

「問い」をたて、情報を収集し、グループや学級全体で意見を出し合い、
多様な考えに触れ、**納得できる「答え」**を導き出し、他者に伝えていく。

○現代の学校教育に求められること

「協働的な学び」での授業の流れ（例）

学習課題　「問い」「めあて」

自分の考え　自分なりの考えをまとめる

グループ　級友の考え、グループの意見

発表　説明、他のグループの考え

クラスでまとめ・相互評価　他の考えと比較、より高次の考えに

学習のまとめ・振り返り　どのように学習したかを確認し、学び方を身に付ける

「協働的な学び」が全ての教科で日常的に行われている

他者の考えから、自分の考えを再度構築して、学びを深めていく

単に伝え合うだけではなく、「納得できる答え」にまとめあげる

○現代の学校教育に求められること

以前の学校教育

知識や技能の習得のみを
重視する傾向が強かった。

現代の学校教育

他者とコミュニケーションを図りながら
新たな知識を創りだしたり、新たな問題を
解決したりする資質や能力を育むことが必要。

知識・技能

思考力・判断力・表現力

学びに向かう力・人間性

一斉授業
少人数指導

グループ学習
探究学習・体験学習

「学びの充実が図れる学校規模」
が求められる。

〇学校教育における人数規模について

学級の児童生徒数が少ないと・・・

入学から一緒で、クラス替えがなく、接する機会が多い。

・教員の目がゆきとどき、個別の配慮がしやすい。

・温かい雰囲気が醸成され、親密な友人関係を構築しやすい。

一方で

〇社会性やコミュニケーション能力が身につきにくい。

〇人間関係や相互の評価が固定化しやすい。

〇多様なものの見方・考え方に触れることが難しい。

〇様々な学習形態をとれないことがある。

〇集団学習の実施に制約が生じる。

入学時から一緒だから気を遣わなくていい

嫌われるかもしれないから、反対をしないようにしよう

頑張っても、△△さんにはかなわない

練習しなくても自分が一番だ

算数が得意な〇〇さんの意見でOKだ

○学校教育における人数規模について

学級の児童生徒数が少ないと・・・

授業以外の場面でも

○教員の目が行き届く、反面、教員への依存心が強くなりすぎる。

○学級の係活動や児童会の委員会活動などが十分にできず、自治・自律の意識が醸成されにくい。

○小学校中学年頃から仲間意識が強まり、友人から影響を受けやすくなる。個性が伸長し、多様化するようになってくる時期に、気の合う友達がいない。

○進学等で、人数の多い環境になじめないことがある。（不安をかかえやすい）

指示されるまでは何もしないで待っている

人数が少ないから、みんなで一緒にやるし、先生が指示してくれる

ＡさんとＢさんは、仲がいいので、中に入りづらい

わからないのに、助けてくれない

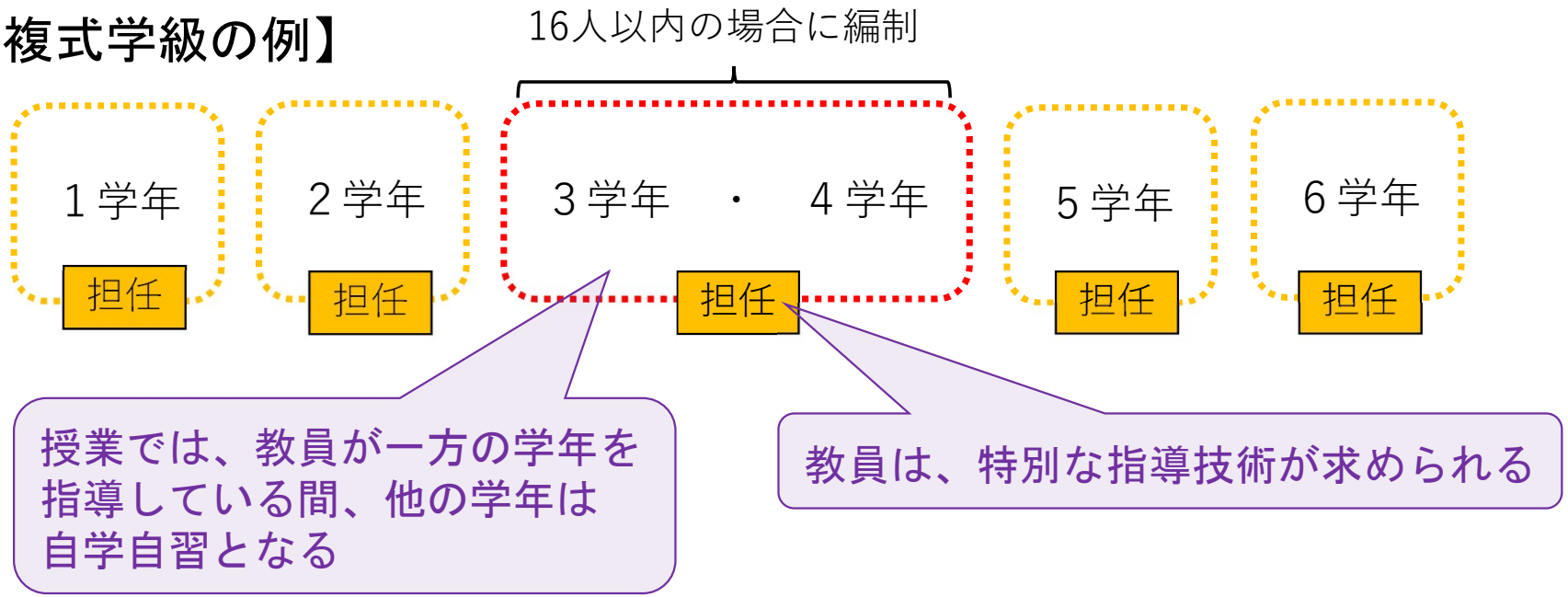
○学校教育における人数規模について

学級の児童生徒数がさらに少ないと・・・＜複式学級とは＞

異なる学年で１つの学級を編制し、担任１人で２つの学年を指導するもの。

引き続く学年が16人以内の場合に編制されます。（１－２年生の場合は８人以内で編制）

【複式学級の例】



○学校教育における人数規模について

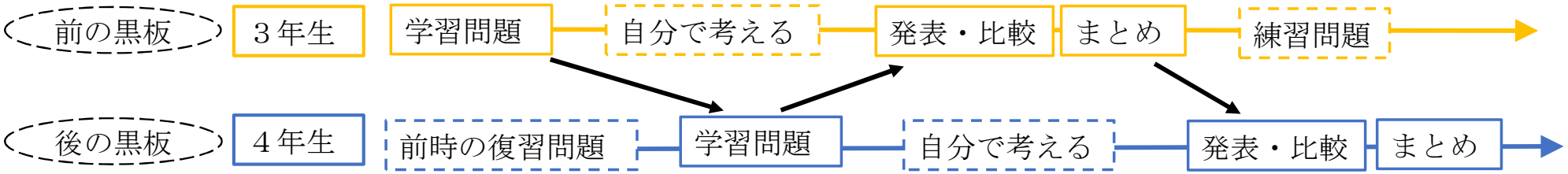
複式学級の課題

☆複式学級では、１人の教員が２つの学年を同時に
指導するため、課題が大きい。

例えば

特別な指導技術
が求められる

１人の先生で、
３年生には「時こくと時間」で、１０時２０分から５０分後の時刻を考える学習を
４年生には「小数のたし算」で、0.3　＋　0.25　の計算を考える学習を一緒に指導する。



３年生が、問題を解くように、自分で考えている時に、
先生は４年生を指導している。
そのため、３年生は、必要な支援をしてもらえない。

○学校教育における人数規模について

複式学級の課題

・複式学級の課題を解消したい。
・理科の実験や体育の実技や家庭科の実習などでは、常に学習状況に気を配る必要がある。

対応1

学級担任ではない先生を、学級担任にして
１学年で１学級にする（複式学級を解消する）

教務主任の業務に支障がでる
専科授業ができなくなる

対応2

他の学年同士で合同授業をして、
あいた先生が専科授業を行う

複式学級の課題は、学校全体に影響する

○皆様のご理解が深まったら、代表者会議へ

対話による
十分な話し合い

ＰＴＡ

自治会

就学前児童の保護者

など

理解が深まり
了承が得られたら

代表者会議へ

両校の保護者・地域住民の
代表による
統合の意思決定をする会議

保護者・地域住民・行政の協働によって考え、進めていきましょう。

茂原市教育委員会教育総務課のウェブページで、
これまでの話し合いや意見交換会の開催状況等を
確認することができます。

お問い合わせ
茂原市教育委員会　教育総務課
電話：0475－20－1557
FAX：0475－20－1607

参考資料

小・中学校の児童数・学級数（令和８年度）

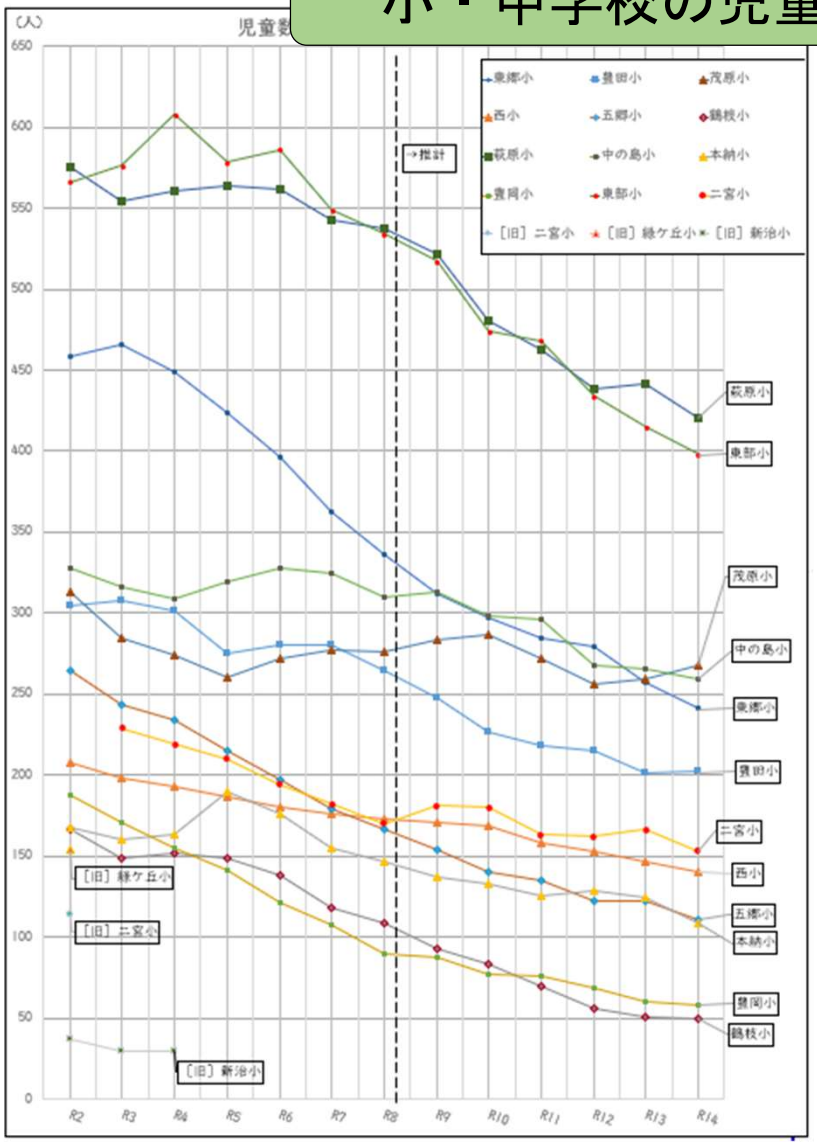
小学校	東郷小	豊田小	茂原小	西小	五郷小	鶴枝小
児童数	336	265	276	173	167	109
学級数	13	11	12	7	6	6

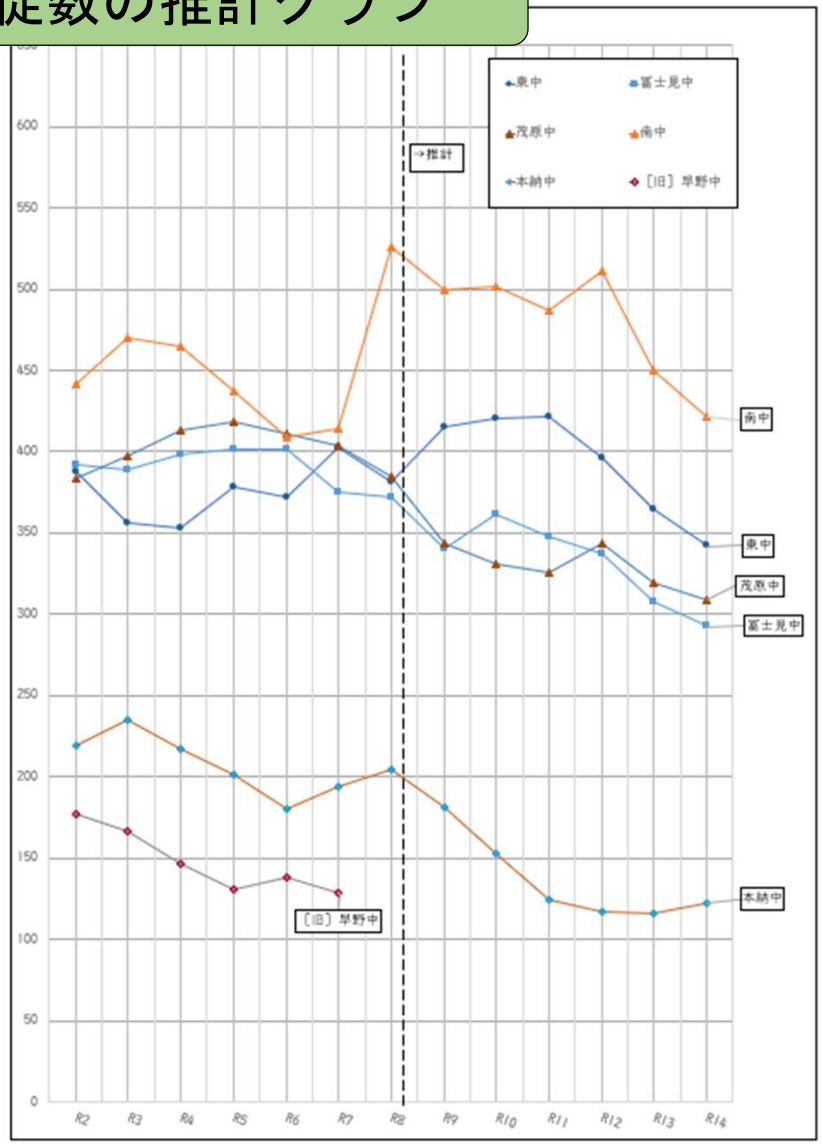
小学校	萩原小	中の島小	本納小	豊岡小	東部小	二宮小
児童数	537	310	146	90	534	170
学級数	18	12	6	6	18	7

中学校	東中	冨士見中	茂原中	南中	本納中
生徒数	381	372	385	526	204
学級数	12	11	12	15	6

※令和８年５月１日の児童生徒数・学級数

小・中学校の児童生徒数の推計グラフ





本納地区の小学校の児童数と推計

R2～R8：実績
R9～R14：住民基本台帳（R8.4.1時点）による推計

本納小学校

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
児童数	168	160	163	190	176	155	146	137	133	125	129	124	109

推計

新治小学校

年度	R2	R3	R4
児童数	37	30	29

本納小と統合

豊岡小学校

推計

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
児童数	188	171	155	141	121	108	90	87	77	76	69	60	58

本納小学校と豊岡小学校の児童数を合計した数値

平成31年４月２日～
令和２年４月１日生まれ

今年度 ⇒ 推計

本納小＋豊岡小	R8		R9		R10		R11		R12		R13		R14	
	児童数	学級数												
１年	39	2	32	1	31	1	25	1	31	1	26	1	22	1
２年	40	2	39	2	32	1	31	1	25	1	31	1	26	1
３年	34	1	40	2	39	2	32	1	31	1	25	1	31	1
４年	34	1	34	1	40	2	39	2	32	1	31	1	25	1
５年	45	2	34	1	34	1	40	2	39	2	32	1	31	1
６年	44	2	45	2	34	1	34	1	40	2	39	2	32	1
全校	236	10	224	9	210	8	201	8	198	8	184	7	167	6

※令和８年度：実績
　令和９～14年度：住民基本台帳（令和８年４月１日時点）による推計

学校施設の状況

施設等		本納小・中学校		豊岡小学校	
教　室		２４（小学校８室・中学校８室使用）		１３（８室使用）	
特別教室	理科室	2	エアコン有	1	
	音楽室	1	エアコン有	1	エアコン有
	美術室	1	エアコン有	－	
	図画工作室	－		1	
	技術室	1	エアコン有	－	
	家庭科室	2	エアコン有	1	
	外国語室	1	エアコン有	1	エアコン有
	図書室	1	エアコン有	1	エアコン有
体育館		812㎡		721㎡	
柔剣道場		525㎡（鉄棒の設置設備有）		－	
運動場		19,418㎡（含駐車場 約1,900㎡）		14,050㎡（含プール敷地）	
プール		なし（民間委託）		あり	
遊具	ブランコ	1		1	
	ｼﾞｬﾝｸﾞﾙｼﾞﾑ	1		1	
	うんてい	1		1	
	すべり台	1		1	
	のぼり棒	1		1	
	鉄棒	2		2	
	平均台	1		1	
	砂場	1		1	
	築山	－		1	

学校施設の状況

教室（増築校舎）

教室

音楽室

第１理科室

第２理科室

美術室

学校施設の状況

家庭科室（被服室）

家庭科室（調理室）

技術室

外国語室

図書室

体育館

学校施設の状況

柔剣道場

運動場

運動場（遊具）